

伸縮ワイヤー2の鞍への固定接続方法

1. サドルホルダーへの取り付け

伸縮ワイヤー2の接続は、鞍に付いているサドルホルダーの中央部に固定します。



サドルホルダーへの伸縮ワイヤー2装着方法 (注意3、4、5参照)

サドルホルダーの付いていない鞍はあらかじめご用意下さい。

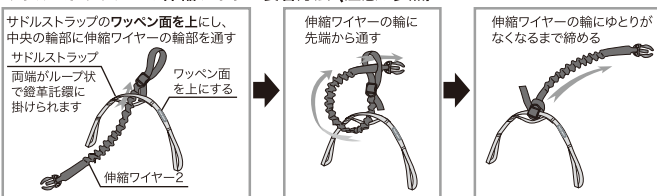


- 注意 ⚠ 1. 伸縮ワイヤー2の接続が不完全の場合、伸縮ワイヤー2が伸びきった状態で、その接続が外れてしまい作動しない恐れがあります。
- 注意 ⚠ 2. 伸縮ワイヤーに異常(傷、ひび割れ等)が発見された場合はすぐに新しいものにお取り替え下さい。(※当社指定以外の伸縮ワイヤーは使用しないで下さい)
- 注意 ⚠ 3. サドルホルダーにひび割れなどの劣化しているものや強度の無いものは使用しないで下さい。サドルホルダーが切れてエアバッグが作動しない恐れがあります。胸具託環に錆などの劣化しているものは使用しないで下さい。サドルホルダーが根元からはずれ、エアバッグが作動しない恐れがあります。
- 注意 ⚠ 4. サドルホルダーの中央部に取り付けでも、固定箇所がないため左右にずれ作動が遅れる場合があります。
- 注意 ⚠ 5. 胸具託環へ伸縮ワイヤー2を直接取付するのはおやめ下さい。胸具託環(サドルホルダー取付け用金具)へ伸縮ワイヤーを直接取付けると作動の際に金具が破損したり、根元からはずれエアバッグが膨らまない場合があります。

2. サドルストラップへの取り付け

伸縮ワイヤーの接続は鞍に当社製品サドルストラップを取付けて、その中央の輪部に伸縮ワイヤーを固定します。

サドルストラップへの伸縮ワイヤー装着方法 (注意3参照)



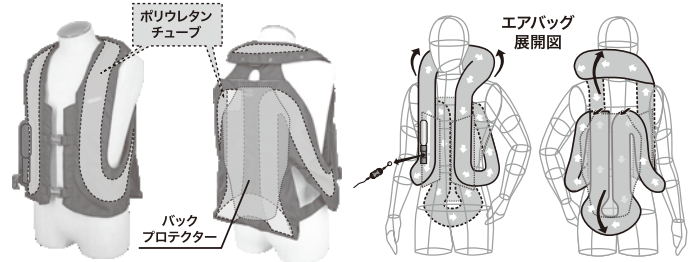
機能・構造

1. 「一定の距離」離れた瞬間作動し、エアバッグ(気室)に炭酸ガスを送り込み膨らみます。最大限に膨らむまでも、衝撃を緩和する効果があります。
2. 胸部にあるヒットエア-CO2カートリッジボンベ及び、キーボックスの背面部分には、アクシデントなどの際にそれらの突起物が原因となる衝撃を緩和・分散させるために、緩衝材のABS製プロテクターが取り付けられています。
3. 作動後、最大限に膨らんだエアバッグ(気室)は、徐々にガスが抜ける仕組みになっています。作動直後に身体への圧迫がありますが、徐々にガスが抜けて圧迫がなくなっていきます。息苦しい場合は、脱衣して圧迫を解消して下さい。
4. ヒットエアの表生地、気室、マジックテープ、ファスナー、バックル等が傷ついたり、破損した場合は、正常な作動をしません。
5. 事故などで作動し、傷・破損等が見当たらない場合でも取扱店、又は当方にてメンテナンスチェック(※3)を行ってから再使用する事をお勧めします。
6. 使用時は前面のバックルを必ず閉じてください。

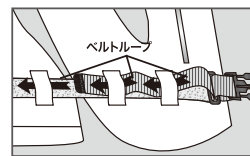
(※3) メンテナンスチェックとは、ウェアなどに、傷・破損が見当たらない場合でも、その中に組み込まれている気室に破損がある場合がありますので、当方にて各気室に空気を入れ漏れがないか、又、組み込まれた部品に異常がないかを確認する作業です。

ヒットエア構造図

ヒットエアは、表面の生地(カバー)の中にエアバッグのポリウレタンチューブが内蔵されています。作動の際にポリウレタンチューブが膨らみ衝撃を緩和します。



サイズ調節



アジャストベルトでウェスト調節の際、必ずベルトループに通してからご使用下さい。ベルトループを通さないで使用し作動した場合に、ベルトが外れてエアバッグ本来の機能(衝撃緩和)を損なう恐れがあります。

※モデルによってベルトループの数が異なる場合があります